

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel: 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel: +81-3-3666-1361

URL: <https://www.jpx.co.jp/>

※2021年2月17日付で別紙の内容を訂正しております。

2021年1月27日

各 位

株式会社 東京証券取引所
上 場 部

英文開示実施状況調査結果（2020年度）の公表について
ー市場第一部の72.4%が英文開示を実施、開示充実への取組みが進展ー

株式会社東京証券取引所は、海外投資家の利便性の向上を図り、上場会社より開示された情報に基づく適切な投資判断ができるよう、上場会社の英文開示への取組み状況の把握とその促進を目的として、2019年より上場会社に対して「英文開示実施状況調査」を行い、回答内容を一覧としてとりまとめ、当取引所のウェブサイトを通じて、広く海外投資家等に提供しております。

このたび、2020年度の調査を行い、一覧を更新するとともに、調査結果概要をとりまとめましたので、お知らせいたします。

市場第一部上場会社における英文開示実施率は72.4%（前年末時点55.6%）、決算情報・「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」に係る英文開示の実施状況を銘柄選定の定性評価に組み込むJPX日経インデックス400を構成する会社においては97.5%となりました。英文開示のタイミングも、日本語と同時に行う会社が最も多く、英文開示に積極的に取り組んでいる状況が明らかになりました。

近年、東証市場における海外投資家の株式保有比率は高い水準で推移しており、英文開示の充実を望む声が多く寄せられていることや、コーポレートガバナンス・コードで英語による情報の開示・提供を進めるべきとされていることを踏まえ、上場会社における英文開示の取組みが進展していることがうかがえる結果となりました。

詳細は別紙をご覧ください。

以 上

【本件に関するお問合せ先】
株式会社東京証券取引所
上場部 開示業務室 ディスクロージャー企画グループ
03-3666-0141（代表）

英文開示実施状況調査結果概要（2020年度）の公表について
 ー市場第一部の72.4%が英文開示を実施、開示充実に向けた取組みが進展ー

2021年1月27日
 株式会社 東京証券取引所
 上場部 開示業務室

【調査概要】

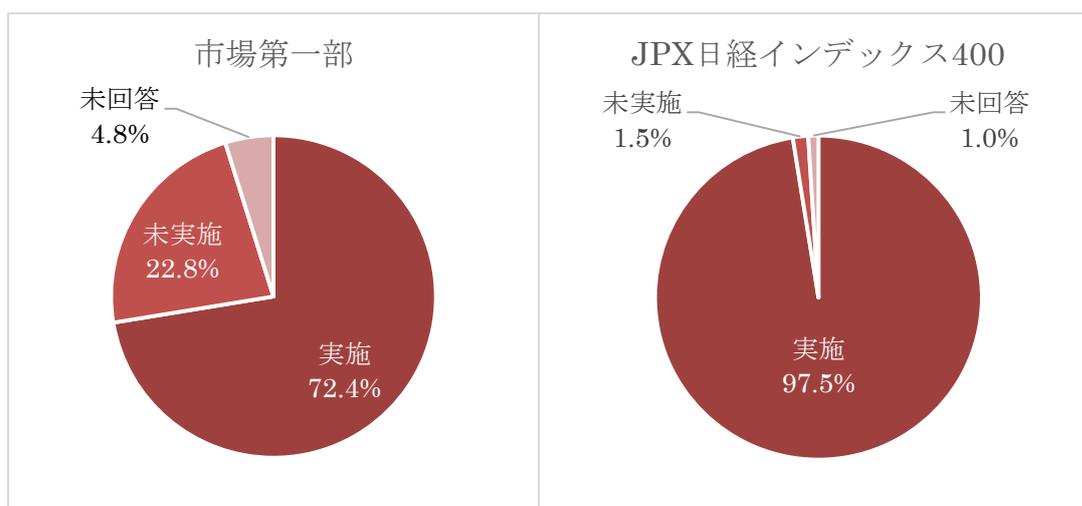
- 上場内国株券の発行者全社を対象として、決算短信や株主総会招集通知等の英文開示の実施有無、開示タイミング等について、アンケート調査¹を実施
- 回答社数：3,065社、市場第一部の95.2%（2,081社）が回答
- 海外投資家によるアクセス向上のため、調査結果（英文開示実施状況の一覧）は当取引所のウェブサイト（英文サイト）に掲載

URL：<https://www.jpx.co.jp/english/listing/others/availability/index.html>

【調査結果（概況）】

（英文開示実施率）

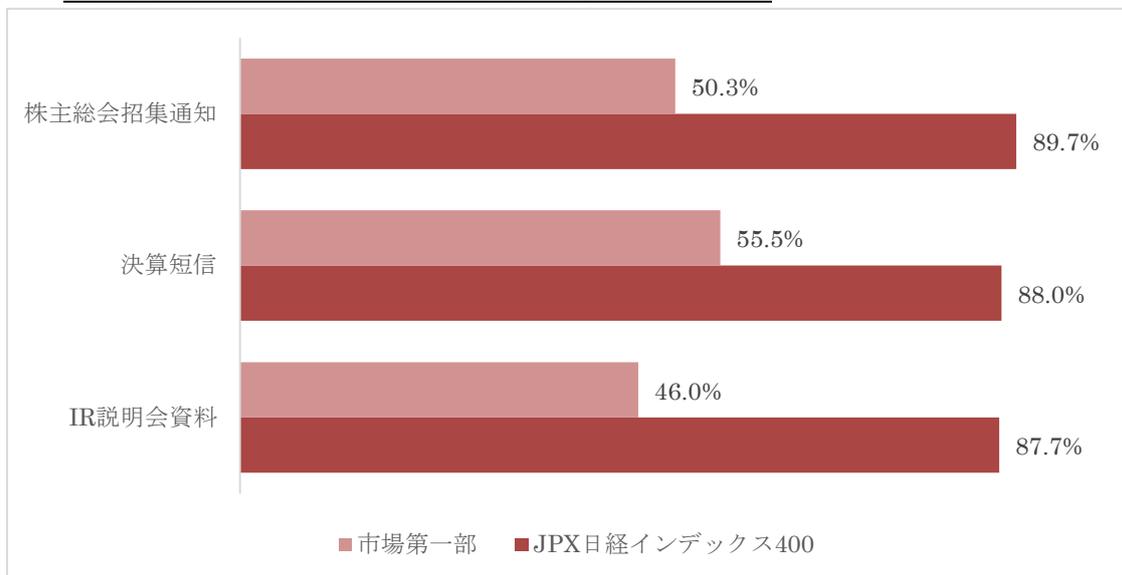
- 2020年12月末日時点において、英文での情報開示を実施している上場会社は、市場第一部では72.4%（1,583社）となり、前年末時点（55.6%、1,202社）と比べ、各社の取組みが進展
- JPX日経インデックス400構成銘柄の実施率は97.5%（389社）に上り、「投資者にとって投資魅力の高い会社」においては標準的に実施



¹ 調査対象書類：決算短信、その他（決算短信以外）の適時開示資料、株主総会招集通知、コーポレート・ガバナンスに関する報告書、有価証券報告書、IR説明会資料、その他の英文開示資料（任意回答）

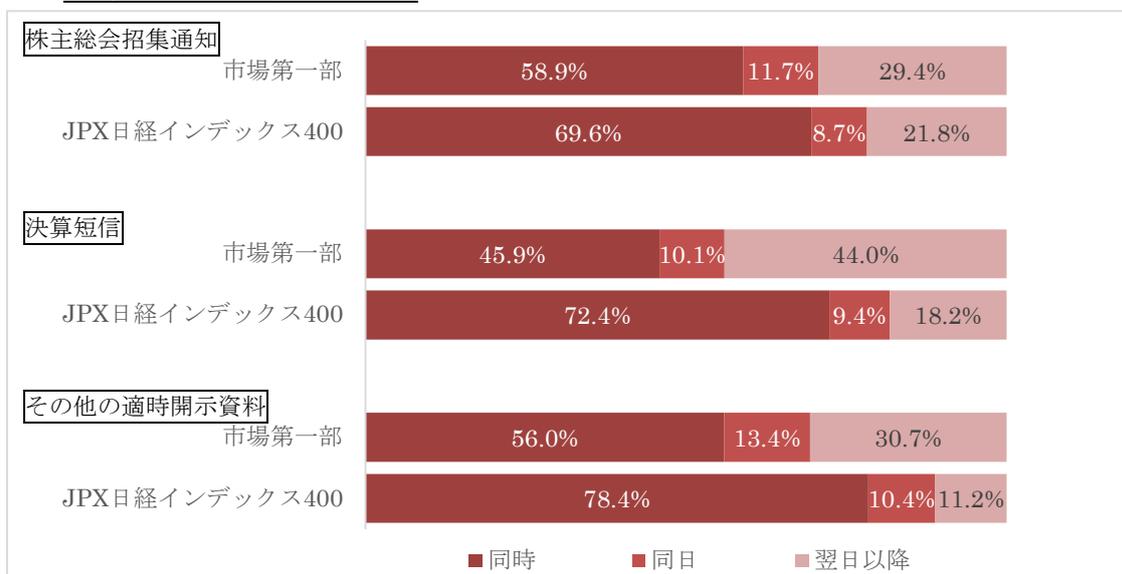
(資料別実施率)

- 資料別では、コーポレートガバナンス・コード²の浸透に伴い、株主総会招集通知の英文開示実施率が高い
- 決算短信のほか、経営方針や事業戦略といった情報が含まれる IR 説明会資料の英文開示に取り組む上場会社も多く見られる



(開示タイミング)

- 日本語資料と同時に開示を行う上場会社が最も多く、フェア・ディスクロージャーへの配慮が伺える



以上

² コーポレートガバナンス・コードでは、補充原則1-2④において、「上場会社は、自社の株主における機関投資家や海外投資家の比率等も踏まえ・・・(中略)・・・招集通知の英訳を進めるべきである。」としている。